

熊野駅伝30年史販売中

熊野駅伝大会実行委員会では、熊野駅伝の歴史と伝統を後世に残す目的で、「熊野駅伝30年史」を販売しております。30年間の記録および21回大会からの大会の回顧等を掲載した貴重な資料です。



部数：限定400部
定価：500円

熊野駅伝大会実行委員会事務局（生涯学習課内）または町民体育館にて販売しております。
問合せ先 生涯学習課 820 - 5621

広報「くまの」では、町民の皆さまのお宅に広報が届く期間を考慮して、おおむね毎月11日以降から翌月10日までのお知らせを掲載しています。

第30回 町民ロードレース大会

とき 12月4日(土)
午前8時半 受付

町民グラウンド周辺

参加資格 町内在住者、町内の事業所に勤務している者、町内学校の通学者で小学4年生以上の者・町内学校卒業者

種目 1.0 kmの部 小学4～6年生女子

1.5 kmの部

小学4～6年生男子

2.0 kmの部

中学、高校、一般女子、10歳代(小学生を除く)、20歳代、30歳代、40歳代以上男子

4.0 kmの部

中学、高校、20歳代、30歳代、40歳代以上男子

ジョギングの部

参加費

一般 300円
小中学生 200円

申込締切

11月24日(水)

問合せ先 町民体育館

854・7695

(生涯学習課)



くまの俳壇

熊野俳句同好会

【熊野婦人俳句会】

花野行く星のかけらを掌の中に
ひぐらしの朝から鳴くや岬みち
百日草朝の風に色深む
稲雀おふたび膝のおとるへし
皆寄りて仏に供へし 豆飯
みどり児の足裏白し菊日和
柿青し休校告ぐる知らせあり
稲束を引摺って行く童かな
故里の風に新稲匂ひけり
たわわなる枇杷の後に瀬戸の海
啄木鳥の林明るき調べかな

【西公民館俳句グループ】

菩提寺の大樹に咲ける仙人掌
水門を覆へる葛に花見ゆる
挨拶の離合斜めに墓参り
釣銭が手にねばりつく大暑かな
葛茂り人の幅だけの橋かかる
蛇の衣墓石の前に乾きをり
蝸や一人の夕餉支度する
たんねんに畳拭きたり今朝の秋
雨筋に日の当りをり大蓮田

工藤 義夫
亀谷 しず恵
隠土 信子
平山 篤子
馬上 芳江
久保田 フクヨ
堀野 眞理子
上野 啓子
大田 文子
今田 真由美
阪本 清子
進藤 隼美
南村 マサ子
西村 柳子
尺田 せつ
長山 法江
渡辺 文代
関村 光子
別府 藤子
木村 里風子

八月三十日、台風十六号が猛威を振って日本海へ抜けた。九州、四国、中国地方に大きな被害を与えたが、広島をそれて関西、関東へ進路を変えてくれればという人がいた。広島がよければよい。これは淋しい考え方。どこの被害でも同じ。自分だけが、という気持ち広がっているように思える。三十日の晩、こおろぎの初鳴きを聞いた。自然の虫の心が和む。

木村里風子